



ユーザガイド

1.0.0 | 2014 年 4 月 | 3725-32527-002a

# Polycom<sup>®</sup> CX300 R2<sup>™</sup> デスクトップ 電話機



---

## 商標情報

POLYCOM® および Polycom 社製品に関する製品名およびマークは Polycom, Inc. の商標および ( または ) サービスマークであり、米国およびその他の国における登録商標および ( または ) 慣習法で認められたマークです。他のすべての商標や著作権は、それぞれの会社が所有しています。

## 特許情報

付随製品は、米国および諸外国の 1 つ以上の特許権によって保護されているか、Polycom, Inc. による特許申請中として保護されています。

© 2014 Polycom, Inc. All rights reserved.

Polycom, Inc.  
6001 America Center Drive  
San Jose CA 95002  
USA

本書のいかなる部分も、ポリコムジャパン株式会社の明示的な許可なしに、いかなる目的でも、電子的または機械的などいかなる手段でも、複製または転送することを禁じます。法律の下においては、他の言語への翻訳および他のフォーマットへの変換も複製と見なされます。

当事者間で、ポリコムジャパン株式会社は、この製品に含まれるソフトウェアに関するすべてのタイトル、所有権、占有権を保有します。本ソフトウェアは、米国の著作権および国際条約規定によって保護されています。このため、本ソフトウェアは、他の著作権がある物件 ( 例 : 書籍または録音物 ) と同様に取り扱う必要があります。

本書に含まれる情報の正確性を期すために、あらゆる努力を傾注しました。Polycom, Inc. は、印刷エラーまたは事務的エラーに対する責任を一切負いません。本書内の情報は、予告なしに変更することがあります。

---

# 目次

本ガイドについて .....	4
<b>Polycom CX300 R2 電話機の開始 .....</b>	<b>5</b>
電話機の機能 .....	6
電話機を使用する前に .....	7
コンピュータへの Polycom CX300 R2 接続 .....	7
Polycom CX300 R2 をプライマリデバイスとして使用する .....	9
電話機の設定の機能 .....	9
<b>Polycom CX300 R2 電話機の使用 .....</b>	<b>13</b>
通話の発信 .....	13
通話の応答 .....	14
通話の終了 .....	14
連絡先のリダイヤル .....	15
音声ミュート .....	15
音量の調節 .....	15
通話の保留 .....	15
ボイスメールの使用 .....	16
電話機の再起動 .....	16
<b>Polycom CX300 R2 電話機のトラブルシューティング .....</b>	<b>18</b>
電源と起動 .....	18
通話アクティビティの処理 .....	19
表示メッセージ .....	19
音声 .....	20
Microsoft Lync クライアント .....	20
<b>安全に関する通知 .....</b>	<b>21</b>

# 本ガイドについて

---

Polycom® CX300 R2™ デスクトップ電話機をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このデスクトップ電話機は、コンピュータまたは USB ポートを使用して、Microsoft® Lync™ 2010 または Lync 2013 と接続できます。Polycom CX300 R2 を使用すると、IP ネットワーク接続経由で Lync 2013 クライアントの通話の発信と受信が可能になります。Lync 2013 クライアントの詳細については、[Microsoft Office Web サイトの Microsoft Lync](#) をご参照ください。

このユーザガイドには、CX300 R2 電話機を使用するために必要な情報が記載され、以下の項目で構成されます。

- [Polycom CX300 R2 電話機の開始](#)
- [Polycom CX300 R2 電話機の使用](#)
- [Polycom CX300 R2 電話機のトラブルシューティング](#)
- [安全に関する通知](#)

# Polycom CX300 R2 電話機の開始

---

本項では、Polycom CX300 R2 電話機で最良のパフォーマンスを得るためのデスクトップ電話機のインストール手順と情報を説明します。

CX300 R2 電話機には、Microsoft Lync 2010 または 2013 クライアント がインストールされているデスクトップ電話機の高度な通信機能にアクセスするための柔軟で効率的な方法が用意されています。

Polycom CX300 R2 電話機では、次の高機能がサポートされています。

- 快適な音声通話を提供する HD 音声
- 便利な通話制御ボタン
- クイック USB インストール

本項には次の項目が含まれます。

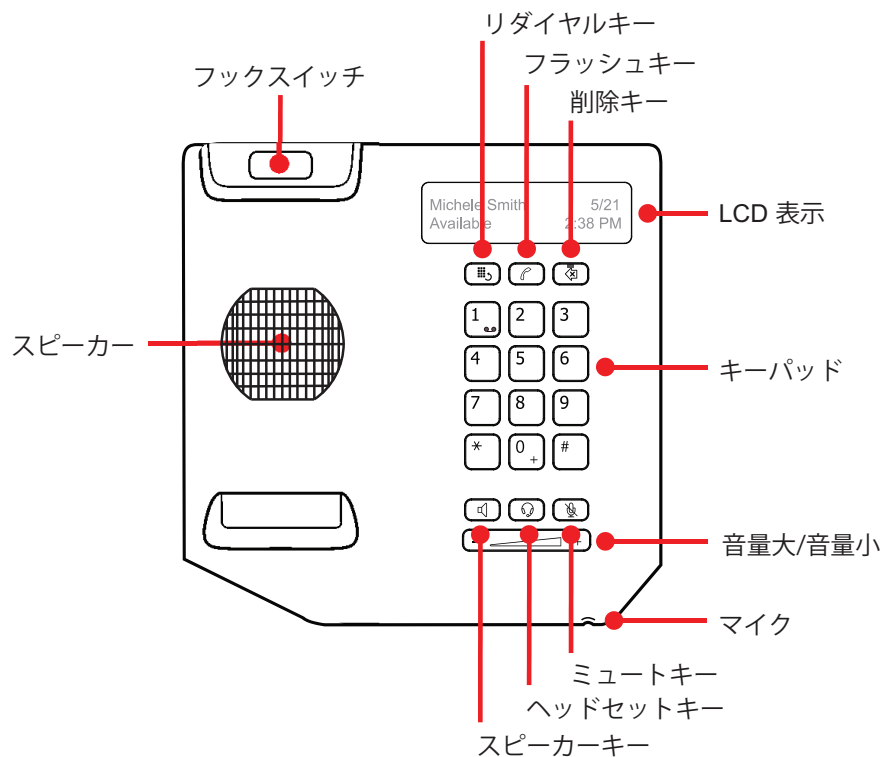
- [電話機の機能](#)
- [電話機を使用する前に](#)

電話機の基本的な機能については、セクション「[Polycom CX300 R2 電話機の使用](#)」をご参照ください。電話機ハードウェアの取り付けについては、[Polycom Voice Support](#) の「[Polycom CX300 R2](#)」ページの「[Polycom CX300 R2 クイック スタート ガイド](#)」をご参照ください。



## 電話機の機能


次の図は Polycom CX300 R2 電話機の重要な機能を示します。




図： Polycom CX300 R2 電話機の機能



次のリストでは、CX300 R2 電話機の重要な機能について説明します。

- 1 LCD ディスプレイ** – 通話情報、メッセージ、時刻、日付、およびプレゼンスステータスを表示します。LCD ディスプレイのバックライトは次の場合に点灯します。
  - 通話中。
  - 電話機の設定の変更中 (セクション「[電話機の設定の機能](#)」を参照)。
  - Microsoft Lync 2010 または 2013 クライアントと電話機の交信中。
  - コンピュータで実行されているアプリケーションと電話機間で音声をストリーム中。30 秒間操作が行われないと、ディスプレイバックライトはオフになります。
- 2 リダイヤルキー**  – 最近ダイヤルした相手をダイヤルします。
- 3 フラッシュキー**  – アクティブな通話を保留するか、保留した通話を再開します。
 

また**保留キー**を押しても、通話を終了する前に入力した電話番号をクリアするか、2 つのアクティブ通話間で切り替えることができます。
- 4 削除キー**  – 表示されたデータを削除するか、着信を拒否します。

- 5 **ダイヤルパッド** – 数字、文字、または特殊文字を入力できます。
- 6 **スピーカーフォンキー**  – 通話中にハンズフリーの通信を可能にします。
- 7 **ヘッドセットキー**  – 接続されたヘッドセット (オプションのアクセサリ) を介して通話を発信および受信できるようにします。
- 8 **ミュートキー**  – 通話中に相手にこちら側の音声がかたよえないように、こちらのマイクをミュートします。
- 9 **音量キー** – ハンドセット、スピーカーフォン、ヘッドセットスピーカーの音量の調節に、通話中ではない場合は着信音の音量の調節に使用します。
- 10 **マイク** – 通話中に音声を送信します。
- 11 **スピーカー** – 着信音とスピーカーフォンの音声出力用です。
- 12 **フックスイッチ** – クレイドルにハンドセットを固定して、通話を終了します。

## 電話機を使用する前に

Polycom CX300 R2 デスクトップ電話機を使用する前に、ご使用のコンピュータで次のハードウェアとソフトウェアが使用可能であることを確認する必要があります。

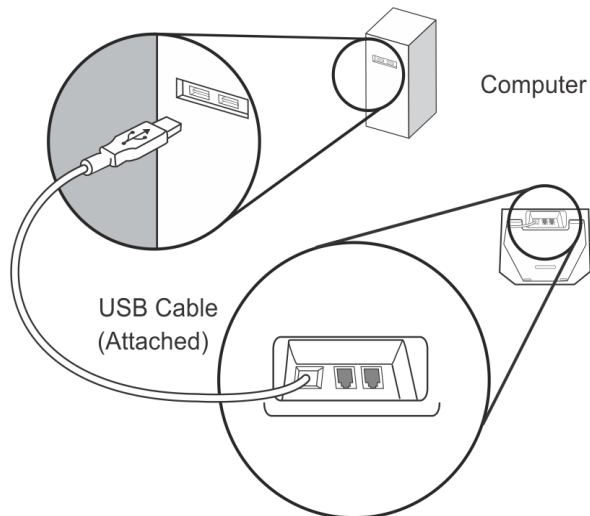
- Windows® Vista、Windows 7、Windows 8、または Windows 8.1
- Microsoft Lync 2010 または 2013 クライアント
- USB ポート

## コンピュータへの Polycom CX300 R2 接続

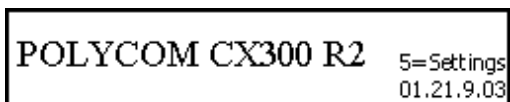
Polycom CX300 R2 デスクトップ電話機を接続する前に、ご使用のコンピュータに Microsoft Lync 2010 または 2013 クライアントがインストールされ、実行中である必要があります。Lync クライアントがコンピュータにインストールされていない場合、電話機に [Microsoft Lync にサインイン] というメッセージが表示されます。この場合、電話機を音声デバイスとしてしか使用できず、通話を発信することはできません。

## コンピュータに Polycom CX300 R2 デスクトップ電話機を接続するには：

- » 次の図に示すように、電話機に付属している USB ケーブルをコンピュータの USB ポートに接続します。



コンピュータに電話機が接続されると、次の図に示すように、起動画面が表示されます。



### メモ：コンピュータへの電話機の接続

CX300 R2 電話機とご使用のコンピュータの USB ポート間は USB ケーブルで直接接続する必要があります。バスパワー型の USB ハブを経由して接続すると、電話機は機能しません。

CX300 R2 電話機がご使用のコンピュータに接続されると、Lync クライアントにサインインして、電話機の使用を開始できます。電話機に接続した状態で Lync クライアントにサインインすると、次の図に示すように、電話機の画面に名前、プレゼンスステータス、日付、および時刻が表示されます。

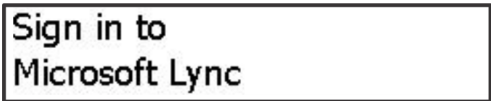
図： Lync クライアントにサインインしたときのディスプレイ画面



Lync クライアントにサインインしていない場合、次の [サインイン] 画面が表示されます。




図： Microsoft Lync の Polycom CX300 R2 の [サインイン] 画面



## Polycom CX300 R2 をプライマリデバイスとして使用する

電話機を使用する前に、Lync クライアントで電話機がプライマリ音声デバイスとして設定されていることを確認する必要があります。電話機がプライマリ音声デバイスとして設定されている場合は、デスクトップ電話機で着信および発信の音声を聞くことができます。

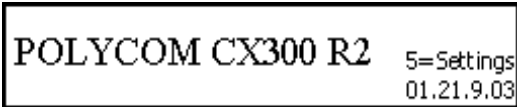
電話機をプライマリデバイスとして設定するには：

- 1 Lync クライアントで、[設定] アイコン  を選択し、[ツール] > [オーディオデバイスの設定] を選択します。
- 2 [オーディオデバイス] で、[Polycom CX300] が音声通話に使用するデバイスに選択されていることを確認します。

## 電話機の設定の機能

起動時の Polycom CX300 R2 電話機の音量とテキスト表示の設定を変更できます。**CX300 R2** 電話機をご使用のコンピュータに接続して電話機を起動すると、次の図に示すように、画面にオプション **[5=Settings]** が 10 秒間表示されます。Lync クライアントにサインインしていない場合、起動画面は 10 秒間表示されます。Lync クライアントにサインインしている場合、起動画面の表示時間は 1 秒間です。

図： 起動画面の設定オプション



### メモ：設定オプションは他の言語では表示されません

Lync クライアントの言語設定が英語でない場合、「5=Settings」は電話機の起動時に表示されません。ただし、起動時にダイヤルパッドの 5 キーを押すと、設定メニューにアクセスできます。



### 注意：コンピュータから電話機を取り外さないでください

電話機の設定の変更中にコンピュータから電話機を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

本項では、次の設定の手順について説明します。


- [音量ボタン応答速度の設定](#)
- [音量の設定](#)
- [表示設定](#)

## 音量ボタン応答速度の設定

音量キー応答速度によって、ユーザが電話機の音量キーを押してから音量が増大または減少する速度が設定されます。


音量ボタンの反応速度の設定を変更するには：

- 1 起動中にダイヤルパッドの **[5]** キーを押します。  
次の図に示すように、[Device Settings] 画面が表示されます。



Device Settings - Press keypad  
button (1) to continue or (\*) to exit.

- 2 **[1]** を押して **[Device Settings]** を続行し、**[1]** をもう一度押して作業を続けます。
- 3 **音量ボタンの設定**を行う場合は、**[1]** を押します。  
「You can adjust the rate which volume will increase or decrease when holding down the volume buttons」というメッセージが表示されます。
- 4 **[1]** を押して、引き続き音量ボタンの設定を行います。
- 5 音量ボタン応答速度について、次のオプションのいずれかを選択します。
  - Slow(1)
  - Standard(2)
  - Fast(3)「Use the <your choice of> volume button response rate? YES (1) Cancel (\*)」というメッセージが表示されます。
- 6 [Yes] の場合は **[1]** を、[Cancel] の場合は **[\*]** を選択します。  
**[1]** を押すと、次の図に示すように、「Volume button press response rate saved」というメッセージが表示されます。



Volume button press response  
rate saved. Main menu(\*)

- 7 **[\*]** を押して、メインメニューに戻ります。

## 音量の設定

すべての通話の音量は、次の2つのレベルのいずれかに設定できます。

- デフォルトレベル – 音量を電話機の標準レベルに設定します。
- 前の通話で使用されたレベルを保存する – 前の通話で使用された音量のレベルに音量を設定します。

## 音量設定を変更するには：

- 1 起動中にダイヤルパッドの [5] キーを押します。
- 2 [1] を押して [Device Settings] を続行し、[1] をもう一度押して作業を続けます。
- 3 [2] を押してその他のオプションを表示し、[1] を押して音量設定を行います。  
「You can restore volume to default, or preserve volume level from your last call」というメッセージが表示されます。
- 4 [1] を押して、引き続き音量設定を行います。
- 5 次のいずれかのオプションを選択します。
  - 前の通話で使用されたレベルを保存するには [1] を押します。
  - デフォルトレベルにするには、[2] を押します。
 次の図に示すように、「Volume will be set to <your choice> at end of your last call」というメッセージが表示されます。

Volume will be set to default at  
end of your last call. Main Menu(\*)

- 6 [\*] を押して、メインメニューに戻ります。

## 表示設定

[Device Settings] メニューで、電話機のフォントサイズを次のフォントサイズのいずれかに設定します。

- Normal
- Large (出荷時のデフォルト)

次の図に示すように、電話機には [Display Settings] メニューの通常のテキストおよび大きいテキストが実際のサイズで表示されます。

図： [Device Settings] のテキストオプション

This is normal size text.  
This is large...continue(1)



**メモ： [Device Settings] は特定の言語に適用されます。**

ディスプレイ設定メニューのテキストオプションは、日本語、中国語、韓国語、ヘブライ語、タイ語、アラビア語、およびヒンディ語 (デバナーガリ文字) には適用されません。

## 表示テキストのサイズを変更するには：

- 1 起動中にダイヤルパッドキーの [5] キーを押します。
- 2 [1] を押して [Device Settings] を続行し、[1] をもう一度押して作業を続けます。
- 3 [2] を 2 回押してその他のオプションを表示し、[1] を押して [Display Settings] を表示します。  
「Text can be displayed in two sizes for some languages. This is normal size text. This is large」というメッセージが表示されます。

- 4 [1] キーを押して、メッセージを最後まで読み、引き続きテキスト サイズ オプションを選択します。
- 5 次のテキスト サイズ オプションを選択します。
  - **Normal** (通常) サイズの場合は、**[1]** を選択します。
  - **Large** (大きい) サイズの場合は、**[2]** を選択します。

次の図に示すように、「<Your choice> size text selected」というメッセージが表示されます。

Normal size text selected  
Press (\*) for main menu

- 6 [\*] を押して、メインメニューに戻ります。

#### 設定メニューを終了するには：

- » [\*] キーを連続的に押して、電話機の [Device Settings] メニューを終了します。

# Polycom CX300 R2 電話機の使用

Polycom CX300 R2 デスクトップ電話機は、ご使用のコンピュータで CX300 R2 電話機と Lync クライアントを使用して通話を発信および応答するように設計されています。

デスクトップ電話機は、Lync クライアントと緊密に統合された方法で動作し、電話機のハンドセット、スピーカーフォン、またはヘッドセットを介して高品質の音声入力と音声出力を提供します。すべての通話アクティビティは、デスクトップ電話機または Lync クライアントを使用して制御されます。

本項では、次の Polycom CX300 R2 の基本的な機能を使用するための手順について説明します。

- [通話の発信](#)
- [通話の応答](#)
- [通話の終了](#)
- [連絡先のリダイヤル](#)
- [音声ミュート](#)
- [音量の調節](#)
- [通話の保留](#)
- [ボイスメールの使用](#)

また、次の電話機の機能についても説明します。

- [電話機の再起動](#)

電話機の問題のトラブルシューティングについては、セクション「[Polycom CX300 R2 電話機のトラブルシューティング](#)」をご参照ください。

## 通話の発信

CX300 R2 デスクトップ電話機を使用して、Lync クライアントのすべての連絡先に通話を発信できます。

**デスクトップ電話機を使用して通話を発信するには：**

- 1 ハンドセットを取り上げるか、**[スピーカーフォン]** キーを押すか、**[ヘッドセット]** キーを押します。
- 2 以下のいずれかを実行します。
  - **ダイヤルパッド**を使用して連絡先の番号をダイヤルします。  
連絡先の番号の入力が終了すると、その番号が自動的にダイヤルされます。
  - Lync クライアントで連絡先を選択して、**[通話]** をクリックします。  
電話機および Lync クライアントで通話が発信されます。

通話中に、**[スピーカーフォン]** キーまたは **[ヘッドセット]** キーを押すか、ハンドセットを取り上げると、ハンドセットモード、ヘッドセットモード、スピーカーフォンモードの切り替えができます。ハンド

セットを使用している場合は、フックスイッチにハンドセットを置く前に、**[スピーカーフォン]** キーまたは**[ヘッドセット]** キーを押します。スピーカーフォンまたはヘッドセットを使用している場合は、ハンドセットを持ち上げるだけで切り替えることができます。

スピーカが音声を受信しないか、別のアプリケーションによって使用中の場合、ダイヤルトーンが再生されます。スピーカで音声ストリーミングされていない場合は、ダイヤルトーンが長くなり、スピーカが別のアプリケーションまたは音声のストリーミングに使用されている場合は、ダイヤルトーンが短くなります。



**メモ：ダイヤルした番号をすぐに削除する**

間違って番号を入力した場合は、ハンドセットがオフフックのときに**[フラッシュ]** キーを押すと、電話番号全体が削除されます。

## 通話の応答

着信を受信する際、デスクトップ電話機と Lync クライアントに通話が表示されます。電話機または Lync クライアントで、この通話を受け入れるかどうかを選択できます。

### 着信通話に応答するには：

- » 次のいずれかの手順を実行します。
  - ハンドセットを取ります。
  - **[スピーカーフォン]** キーまたは**[ヘッドセット]** キーを押します。
  - Lync クライアントで**[応答]** をクリックします。

### 着信通話を拒否するには：

- » 電話機の**[削除]** キーを押すか、Lync クライアントで**[無視]** をクリックします。  
通話がボイスメールに送信されるか、通話を接続できないというメッセージが通話者が受信します。

## 通話の終了

CX300 R2 電話機または Lync クライアントで通話を終了できます。

### 通話を終了するには：

- » 次のいずれかの手順を実行します。
  - フックスイッチにハンドセットを置きます。
  - スピーカーフォンを使用している場合、**[スピーカーフォン]** キーを押します。
  - ヘッドセットを使用している場合、**[ヘッドセット]** キーを押します。
  - Lync クライアントで**[終了]** をクリックします。

## 連絡先のリダイヤル

[リダイヤル]キーを使用して、デスクトップ電話機の連絡先に簡単にリダイヤルできます。電話機では、電話機または Lync クライアントを使用して発信された最後の通話番号をリダイヤルします。電話機の通話情報はコンピュータに保存されます。1つのコンピュータから電話機を取り外して、別のコンピュータに接続し、[リダイヤル]キーを押すと、2番目のコンピュータに存在する情報に基づき、最後の発信先の番号が電話機によってリダイヤルされます。

**最後の発信通話をリダイヤルするには：**

- » [リダイヤル]キーを押します。

電話機をコンピュータに接続した後に通話を発信していない場合は、[リダイヤル]キーを押しても、電話機は応答せず、メッセージも表示されません。

## 音声ミュート

通話中に[ミュート]キーを押すと、音声をミュートにできます。[ミュート]キーを押すと、こちら側の音声はミュートになりますが、他の参加者の通話は聞くことができます。

**音声をミュートにしたり、ミュートを解除するには：**

- » [ミュート]キーを押します。

こちら側の音声はミュートになり、通話中の他の参加者はこちら側の声を聞くことができなくなります。

## 音量の調節

[音量]キーを使用して、通話の音量レベルとデスクトップ電話機の呼び出し音の音量を調節できます。

**通話中の音量を調節するには：**

- » [音量]キーを押して、音量を増減します。

通話中でない場合に[音量]キーを押すと、スピーカーフォンの音量が調整できます。

## 通話の保留

通話中、[フラッシュ]キーを使用して通話を保留にすることができます。アクティブな通話中に着信があった場合、[フラッシュ]キーを押し、最初の通話を保留にして、2番目の通話に応答できます。通話中に別の通話がすでに保留されている場合、[フラッシュ]キーを押すと、アクティブな通話が保留になり、前に保留されていた通話を再開することができます。複数の通話が保留されている場合は、[フラッシュ]キーを押すことによりそれらの通話を繰り返し表示することができます。

コンピュータ上で実行されている Lync クライアントを使用すれば、同時にすべての通話を保留にできます。

**通話を保留にするには：**

- » 【フラッシュ】キーを押します。

**保留されていた通話を再開するには：**

- » 【フラッシュ】キーを押して、通話を再開します。

## ボイスメールの使用

電話機のボイスメールにアクセスするには、ダイヤルパッドの【1】キーを押し続けます。ボイスメール機能は、PIN 番号を割り当てたシステム管理者が設定します。電話機によってボイスメールがダイヤルされない場合、新しいメッセージはありません。

**ボイスメッセージを聞くには：**

- 1 ダイヤルパッドの【1】キーを 1.5 秒間押します。
- 2 PIN 番号を求められたら、番号を入力します。  
ボイスメールのメッセージが再生されます。

## 電話機の再起動

まれに電話機に問題が発生して再起動しなければならないことがあります。再起動する前にシステム管理者にお問い合わせください。

**電話機を再起動するには：**

- » コンピュータから電話機を取り外し、1 秒待ってから、もう一度接続します。  
電話機が再起動します。





# Polycom CX300 R2 電話機のトラブルシューティング

この章では、Polycom CX300 R2 電話機を使用する際に発生する可能性がある問題、考えられる原因、その対策について説明します。本項では、次の項目について説明します。

- [電源と起動](#)
- [通話アクティビティの処理](#)
- [表示メッセージ](#)
- [音声](#)
- [Microsoft Lync クライアント](#)

この章の説明を読んでも問題が解決しない場合には、システム管理者にお問い合わせください。

## 電源と起動

次の表に、電話機の電源投入または起動時に発生する可能性がある問題と、その対策の一覧を示します。

表： 電源と起動の問題と対策

問題	対策
電話機に電力供給がない。	以下のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 電源を入れたときにユニットのライトがまったく点灯しないことを確認する。</li><li>● USB ポートから電力が供給されていることを確認する。</li><li>● 別の USB ポートに電話機を接続して電力が正常に供給されるか確認する。</li></ul> <b>メモ：</b> バスパワー型の USB ハブを経由して接続すると、電話機は機能しません。

## 通話アクティビティの処理

次の表に、電話機の通話の発信または受信時に発生する可能性がある問題と、その対策の一覧を示します。

表： 通話アクティビティの処理の問題と対策

問題	対策
電話機のキーを使用しても、適切な機能が実行されない。	以下のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>キーをゆっくりと押してみる。</li> <li>システム管理者に問い合わせ、アカウントが適切に設定されていることを確認する。</li> </ul>
発信できない。	Lync クライアントにサインインしていることを確認する。
通話着信時に着信音が鳴らない	以下のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>スピーカーフォンから音を聴こうとしている場合、ハンドセットがオンフックであることを確認する。</li> <li>スピーカが十分聞こえる音量に設定されていることを確認する。</li> <li>電話がスピーカおよびマイクのデバイスとして電話機が選択されていることを確認する。詳細については、セクション「<a href="#">Polycom CX300 R2 をプライマリデバイスとして使用する</a>」をご参照ください。</li> <li>スピーカがコンピュータ上でミュートに設定されていないことを確認する。</li> </ul>

## 表示メッセージ

次の表に、電話機に表示される可能性がある表示メッセージ、メッセージが示す問題、およびその対策の一覧を示します。


表： 表示メッセージの問題と対策

問題	対策
電話機がすでにコンピュータに接続されているのに、「Sign in...」または「Please Upgrade」というメッセージが表示される。	次のいずれかの手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータに最新バージョンの Microsoft Lync クライアントがインストールされていることを確認する。</li> <li>Lync クライアントにサインインしていることを確認する。</li> <li>ネットワーク接続がアクティブであることを確認する。</li> </ul> <p><b>メモ：</b> ご使用のコンピュータに Lync クライアントがインストールされていない場合は、電話機は音声デバイスとしてのみ使用できます。</p>

## 音声

次の表に、電話機の音声に関連して発生する可能性がある問題と、その対策の一覧を示します。

表： 音声の問題と対策

問題	対策
ハンドセットで音声聞こえない。	以下のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Lync クライアントで電話機がプライマリ音声デバイスとして選択されていることを確認する。</li> <li>• システム管理者に問い合わせ、アカウントが適切に設定されていることを確認する。</li> </ul>
接続したヘッドセットで音声聞こえない。	以下の手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ヘッドセットが電話機に適切に接続されていることを確認する。</li> <li>• ヘッドセット用のアンプ（アンプが必要なヘッドセットの場合）がオンになっているかどうか、音量が適切かどうかを確認する。</li> <li>• 電話機が Lync クライアントにログインし、登録されていることを確認する。</li> <li>• ヘッドセットがサポートされているヘッドセットの一覧にリストされていることを確認する。サポートされているヘッドセットのリストは、「<a href="#">Polycom CX300 R2 Support</a>」ページの「Headset Compatibility List」にあります。</li> </ul>
スピーカーフォンキーを押してもスピーカーフォンから音声聞こえない。	電話機がプライマリ音声デバイスとして設定され、スピーカの音声はコンピュータのスピーカで出力されるように設定されていないことを確認する。
電話機を音声デバイスとして使用していないときに、音声グラフィック  が表示される。	開いた Web ページ、または背景で実行されているアプリケーションがメディアを電話機にストリーミングしているか、ストリーミングインターフェイスが選択されている可能性がある。次のいずれかの手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 音声グラフィックを無視する。</li> <li>• Web ページを閉じるか、アプリケーションをシャットダウンする。</li> </ul>

## Microsoft Lync クライアント

次の表に、Lync クライアントに関連して発生する可能性がある問題と、その対策の一覧を示します。

表： Microsoft Lync クライアントの問題と対策

問題	対策
Lync クライアントが正しく動作しない。	システム管理者に連絡し、自分のアカウントが正しく設定され、Microsoft Lync クライアントが適切にインストールおよび設定されていることを確認する。

# 安全に関する通知

## サービス規約

製品に適用されるサービス規約については、Polycom の正規販売代理店にお問い合わせください。

## 準拠法

この限定保証および責任の限定は、米国カリフォルニア州および米国の法律に準拠します。ただし、抵触法の原則は排除されます。「国際物品売買条約に関する国連条約」は、この限定保証および責任の限定に適用されないものとします。

国際および汎米著作権条約に基づき無断複写・転載を禁じます。Polycom, Inc の書面による同意なしに、本書の内容の全体または一部を複写、複製、送信、他言語に翻訳、または他形式に変換することは、その形式または方法を問わず、これを禁じます。ユーザまたはその依頼を受けた第三者が、製品の識別情報、著作権表示、その他の通知を削除することは禁じられています。

## 責任の限定

責任の限定。法律の及ぶ限り、Polycom および供給者に対して契約や（過失を含む）不法行為、あらゆる偶発的、必然的、間接的、特殊または懲罰的損害賠償金、収益または利益の損失、取引上の損失、情報またはデータの損失、販売に生じまたは関連したその他の経済的損失、製品のインストール、保守、利用、パフォーマンス、故障または障害において責任を負わないものとします。これは、Polycom および正規販売代理店が以上のような損害の可能性について報告を受けていたとしても、Polycom の裁量により、修理、交換、購入金額の払い戻しをする責任を限定できることとなります。損害への責任に対する免責条項は、この中で明記されたいかなる救済手段が本来の目的を達成できなかったとしても、何ら影響を与えるものではありません。

### Polycom の限定保証および限定責任

保証の制限：Polycom はエンドユーザ（顧客）に対し、Polycom または正規販売店から製品を購入した日付より 1 年間、通常の使用およびサービスにおいて本製品およびその材料に欠陥がないことを保証します。

Polycom はここで明示された保証に基づき、Polycom の選択と負担により、欠陥製品または部品を修理し、欠陥製品と交換するのに相当する製品または部品を顧客に発送する義務があります。いずれの選択も提供できない場合、Polycom は独自の裁量により、欠陥製品の購入金額を顧客に支払うものとし、交換される製品はすべて Polycom の所有となります。製品あるいは部品の交換には新品または再生部品が使用されます。

Polycom は、交換または修理した製品や部品について、発送日より 90 日間または最初の保証期間の残存期間のいずれか長い方の期間保証します。Polycom に製品を返却する場合は、適切に梱包して運賃前払いで安全に返送する必要があり、保険付きまたは荷物の追跡が可能な方法で発送することを推奨します。Polycom は、返却された製品を受領するまでの過程で生じた損失や損害に対する責任を負いません。修理または交換する製品は Polycom が欠陥製品を受け取ってから 30 日の期間内に Polycom の負担で顧客に発送されます。製品の損失または損害に対するリスクは、顧客の手元に届くまで Polycom が負います。

ソフトウェアのアップデート（マイナーリリース / バグ修正）が提供される 90 日間ソフトウェア保証の付いている製品ソフトウェア。サポートを継続して受けるには、保守契約を購入するのが最も経済的な方法です。

### 免責事項

テストおよび検査の結果、製品の欠陥または故障がないか、または以下の理由である場合、Polycom は上記の限定保証に基づく責任を負わないものとします。

- Polycom のインストール、操作、保守の説明に従わなかった場合
- 不正に製品を変更または改変した場合
- 製品を通じて不正に専用線通信サービスへアクセスした場合
- 顧客および顧客の管理下にある個人が不正使用、悪用、過失行為、削除を行った場合
- 第三者による行為、天災、事故、火事、落雷、変電、停電、その他の被害にあった場合

### 保証の例外事項

Polycom の製品で上記に規定された保証が実施されなかった場合、顧客は保証の不履行について Polycom に製品の修理、交換、購入金額の払い戻しを請求することができます。適用法により許可される最大範囲において、前述の保証および救済策は排他的な保証であり、その他のすべての保証、諸条件に代わるものであり、明示と黙示とを問わず、事実によると法の運用によるとにかかわらず、法律上のものであるかを問わず、保証、諸条件、または商品性、特定目的への適合性、満足すべき品質、表示との一致、および非侵害性を含め、これらすべてを明示的に免責とします。Polycom は、製品の販売、インストール、保守、利用に関する法的責任を他者に負わせたり、委任したりすることはありません。

## 安全および準拠に関する情報

## 使用とクリーニング

- この指示に従って使用してください。
- 熱源の近くでは使用しないでください。
- Polycom 指定の付属品のみを使用してください。
- クリーニングには乾いた布のみを使用してください。

## 操作環境

この装置は、+41°F (+5°C) ~ +95°F (+35°C) で動作する商品です。

## 電気保安に関する警告

Polycom CX300 R2 の設定、使用、および取り扱いを正しく行わなかった場合、Polycom CX300 R2 の破損のリスクが増大する可能性、または重傷を負う可能性があります。個人の安全を確保するためには、この製品は NRTL 認証 (UL、CSA、ETL など) または CE マーク付きの情報技術機器とともに使用する必要があります。

**警告：**この装置は、電源が切れた場合や、広帯域インターネットアクセスが中断した場合には使用できなくなることがあります。

Polycom による明示的な承認なしに変更や改ざんを行った場合、この機器を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

使用可能な部品は含まれていません。



## 分別回収システムのある欧州連合および他の諸国における廃電気電子機器の処分

製品またはそのパッケージにこのシンボルが付いている場合、その製品は家庭廃棄物とともに処分してはならないことを意味します。電気電子機器のリサイクルのために適切な収集場所に引き渡す責任は、個々のユーザーにあります。この分別回収およびリサイクルは、自然資源の節約につながるだけでなく、不正な処分によって電気電子機器に含まれる可能性のある有害物質が健康や環境に悪影響を及ぼすことを防ぐことができます。廃電気電子機器を届ける場所の詳細については、最寄の市役所または自治体、家庭廃棄物処理業者、またはこの製品をお買い上げになった店にお問い合わせください。WEEE の詳細については、「[European Commission](#)」の「[Recast of the WEEE Directive](#)」をご参照ください。

## FCC Part 15 Class B

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna
- Increase the separation between the equipment and receiver
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help

## Canada ICES-003

This Class [B] digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe [B] est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

**安全および準拠に関する情報 ( 続き )**

**CE**

This Polycom CX300 R2 has been marked with the CE mark. This mark indicates compliance with EEC Directives 2004/108/EC and 2006/95/EEC. A full copy of the Declaration of Conformity can be obtained from Polycom Ltd, 270 Bath Road, Slough, Berkshire, SL1 4DX, UK.

**オーストラリア S004 準拠**

ユーザは、特定の動作条件では、ハンドセットのイヤープースに小さな金属製物体が残留している可能性があることに注意する必要があります。この場合、このような物体は、ハンドセットを使用する前に取り除く必要があります。

**ニュージーランド、テレパーミット、Polycom CX300 R2 USB 電話機、PTC 220/10/002**

**PTC の一般的な警告**

端末装置のあらゆる品目に対するテレパーミットの承認は、この品目とそのネットワークに接続するための最低条件に従っていることをテレコムが承諾したことのみを示します。これはテレコムが製品を推奨するものでも、いかなる種類の保証を与えるものでもありません。上記に従い、これは、ある品目が異なるタイプまたはモデルのテレパーミット済み装置の異なる品目とともにあらゆる場合にも正常に動作することを保証するものではなく、いかなる製品がテレコムのネットワークサービスのすべてと互換することを暗示しているものでもありません。

**PSTN (Public Switched Telephone Network : 公衆電話交換回線網) を経由する通信のための CODEC と最適パケットサイズ**

テレコムのアクセス基準では、携帯電話および国際的なネットワークの通話での大きな遅延がすでに確認されているため、PSTN を経由してパケットを渡す場合、20mS 以下のパケットを使用することを推奨しています。PTC220 要件 (<50mS) に準拠する遅延時間を維持するには、G.711 コーデックの使用と 20mS 以下のパケット長が不可欠です。

**エコーキャンセラ**

テレコムの PSTN では、CPE リターン損失がテレパーミット制限内で維持される地理的遅延は許容されるため、エコーキャンセラは通常必要ありません。ただし、VoIP (Voice over IP) 技術を利用するプライベートネットワークでは、あらゆる音声通話でエコーキャンセルを適用する必要があります。音声 /VoIP 変換遅延と IP ルーティング遅延の影響が組み合わさることで、64 mS のエコーキャンセル時間が必要となります。